

「令和6年度伊達市経営に関する説明会（月舘地域）」発言録

日 時：令和6年4月26日（金）

13時40分～14時30分

場 所：月舘ふるさとふれあいホール

参加者：42/43人

（自治会長、行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

健康・福祉

■防災行政無線

行政推進員：まず、「おての里きてみ～な」について、地域交流のために積極的にご提供いただきありがとうございます。また、地域自治組織活動支援交付金におけるご支援についても感謝申し上げます。

お願いになりますが、防災無線について音声の届かない範囲があるため、有事の際に大切な命が失われぬよう、早急に対応をいただきたい。また、先日の月舘学園の入学式において初めて伊達市歌を歌った。こどもたちの綺麗な歌を聞いて改めて伊達市の市歌を大事にしなければならないと思った。現在、防災無線では夕方にメロディーだけの市歌を流しているが、ぜひ歌詞の入ったものを流してほしい。

危機管理担当参事：防災行政無線のスピーカーは市内に76機設置しております。しかし、地形や風向き等の要因により、どうしても聞こえないエリアがあることも承知しております。聞き取りにくいエリアにスピーカーを増設すれば解決するという問題ではないため、市では災害時にテレビやラジオ、市のホームページや公式アプリを通じ、災害情報を速やかに市民の皆様に伝達してまいりたいと思いますのでご理解をお願いいたします。また、防災行政無線の放送内容が聞き取りにくい場合は、伊達市公式アプリ「だてなび」に放送を再度聞くことのできる機能もございますので、ぜひご登録いただければと思います。

防災行政無線は点検のため、毎日17時に伊達市歌を流しております。放送できる長さ等の制限もございますので、歌詞入りのものを流すことについては今後検討させていただければと思います。

生活環境

■デマンドタクシーについて

行政推進員：デマンドタクシー等を利用し、乗り換えなしで保原に行けるようにするなど、市では方策を考えているのかお聞かせください。

市民生活部長：デマンド交通に関しまして、現時点では月舘地域から保原本庁舎まで一本で行くことはできませんが、霊山町で乗り換えて行くことは可能となっています。利用料金も300円に引き下げて設定させていただきました。なお、一本化に向けて事業者と引き続き調整を進めております。

まちづくり・地域振興

■地域自治組織活動支援交付金について

行政推進員：今年度の地域自治組織活動支援交付金が昨年度より減額になっている。理由を確認したところ、算定は人口をもとにされているとのことだった。人口減少に歯止めが利かない状況であるため、人口をベースとした交付額の算定という考え方を改めていただきたい。

未来政策部長：今年度までの地域自治組織活動支援交付金の算定は人口がベースとなっております。今後は人口だけでなく、地域の活動等を考慮し交付額を算定してまいりたいと思います。